



「平成16年度グループ等研究発表会並びに工事報告会」開催される!

去る2月8日(火)福島市の福島テルサF Tホールに於いて、「平成16年度グループ等研究発表会並びに工事報告会」が開催されました。今回はグループ等研究発表会に12件、工事報告会に4件のエントリーがあり、約200名の方々の参加のもと発表が行われました。佐藤会長あいさつの後、下記のテーマで発表があり、外部審査員の福島大学共生システム理工学類 鈴木浩教授、日本大学工学部土木工学科 堀井雅史助教授ほか当協会役員らによる審査の結果、優秀賞を南会津建設事務所、相双建設事務所、県土木部道路領域 渡辺敦宏氏が受賞されました。なお、東北地方整備局主催の東北大会への推薦は、南会津建設事務所の「伊南川と聖牛工」となりました。

第1部 「グループ並びに個人研究発表会」

- 近代土木遺産とまちの活性化
 ~十綱橋と飯坂温泉をとおして~
 県北建設事務所
- 地域の環境負荷低減とPFI手法の活用
 ~地域にやさしい民間活用型の公共事業の実現へ
 向けて~
 県北流域下水道建設事務所
- デフレ時代におけるこれからの「社会資本整備」と
 「まちづくり」についての考察 (Part 1)
 県中建設事務所
- 表土を用いた道路法面緑化について
 ~自生種による緑の再生~
 あぶくま高原自動車道建設事務所
- 中山間地域における行政の防災活動について
 会津若松建設事務所
- 1.5車線の道路整備について
 喜多方建設事務所
- 伊南川と聖牛工
 南会津建設事務所
- 地震時における危機管理体制について
 ~宮城県沖地震に備えて~
 相双建設事務所
- いわき公園の住民評価 ~自分たちの公園へ~
 いわき建設事務所

- 土留杭(鋼矢板・H形鋼)の岩盤打込み施工法の選定について
 (財)福島県建設技術センター
- 走行景観の向上を目指したトンネル坑門工の検討
 県土木部道路領域 渡辺敦宏
- 公共事業における環境・景観との共生についての一考察
 ~管内の地域特性事例を題材として~
 県南建設事務所 白石正俊

第2部 「工事報告会」

- 福島県港湾利用緊急戦略プラン
 ~県内産業の基盤となる港湾の更なる利用拡大に
 向けて~
 県土木部河川港湾領域
- 福島空港テレビ受信障害対策事業
 県福島空港事務所
- あぶくま高原道路開通
 ~空から見るあぶくま高原道路~
 あぶくま高原自動車道建設事務所
- 一般国道252号(滝谷川橋)
 ~ニューマチックケーソン基礎工~
 会津若松建設事務所



工事報告



研究発表



質問風景



表彰式



福島県建設技術協会新春座談会を開催

「福島県建設技術協会新春座談会」は1月21日、郡山市で開かれ、市町村職員と県職員の関わり合い方や女性技術者が抱えている問題、協会へ対する要望などが活発に意見交換されました。

会には各方部から県、市会員の若手技術者8名が出席し、佐藤会長が自らの失敗談を語り笑いを誘うなど終始、和やかなムードで進行しました。「ベテラン技術者から学ぶことの大切さ」、女性技術者からは「産休や育休取得の難しさ、職場でのあるべき役割について」など具体的な意見が出されました。また、県と市町村技術者の更なる交流の場を設けて欲しいなど、多くの要望も出され、今後、福建協会の事業企画や運営に積極的に活用するとともに、県・市町村の建設行政に反映したいと考えております。



新春座談会の出席者

全建・福建の改革に向けて「意見交換会」と「検討委員会」を開催



意見交換会であいさつする森佐馬太氏

公共事業を巡る情勢や会員を取り巻く状況の変化に伴い、今後の協会のあり方や活動の方向性を見直し、会員にとって魅力ある組織を目指す検討が始まりました。

平成17年1月27日に「全建及び福建活性化検討意見交換会」が開催され、県内各方部から県及び市町村会員19名の方々が、様々な立場から協会活性化に向けた意見を発表しました。

また、この意見交換会の結果を受けて、平成17年2月3日には「第1回全建・福建活性化検討委員会」が開催されました。

今後3月末を目標に協会活性化に向けた諸施策をまとめあげることにしています。

なお、本活動は全建本部の「全建活性化森基金」の助成を受けて実施しており、意見交換会には基金の創始者「森佐馬太氏」が視察に訪れました。



「建設新技術・新工法プレゼンテーション」を開催

2月4日(金)福島県ハイテクプラザ(郡山市)において、「建設新技術・新工法プレゼンテーション」が開催されました。これは公共工事のコスト縮減、循環型社会の形成、自然環境の保全等の重点施策をさらに推進



するため、民間で開発された有用な技術を公共事業等の施行者及び民間企業を含め多くの県民の方に知っていただくことを目的として今回が第1回として開催しました。出展企業数は24社、プレゼンテーションの聴講者数は284名になり、盛況のうちに終わることが出来ました。